



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ  
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部部長 (氏名) 芝田 浩実  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 06-6376-8088

平成30年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	23,061	0.1	421	68.5	641	32.3	360	9.4
30年3月期第2四半期	23,029	3.8	249	30.0	485	14.2	397	3.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 339百万円 (13.6%) 30年3月期第2四半期 298百万円 (14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	38.42	38.38
30年3月期第2四半期	42.40	42.33

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	36,375	20,086	55.2	2,138.47
30年3月期	36,379	19,917	54.7	2,120.35

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 20,077百万円 30年3月期 19,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		17.00		18.00	35.00
31年3月期		17.00			
31年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.5	800	27.5	1,300	15.3	1,000	59.7	106.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	11,025,032 株	30年3月期	11,025,032 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,636,234 株	30年3月期	1,636,234 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	9,388,798 株	30年3月期2Q	9,384,770 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の通商貿易政策により先行きは不透明となり、当社グループが属する「食」の分野でも、食材価格や人件費の上昇傾向の中で、顧客獲得に向けた厳しい競争環境となっております。また地震や台風、集中豪雨など自然災害によりおおきな被害を受けた方々が、日本全国におられ、さまざまな影響がひろがってきております。

このような環境の中、当社グループは、「食に対する安心、安全」へのこだわりをビジネスの中心に据え、多様化するお客様のニーズに応えるべく、商品力の強化とともに新商品・サービスの開発・提供を進め、利用機会の拡大アピールを積極的に行い、当社グループへの信頼感の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高230億61百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益4億21百万円（同68.5%増）、経常利益6億41百万円（同32.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億60百万円（同9.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

6月より提唱いたしました「働く女性を応援」をコンセプトにした「ノーキッチンDay」の第二弾として、夏休み時期に合わせた「夏のリラックマキャンペーン」を実施し、同時に「手軽におひとつ!」をキーワードに小腹が空いたときやお弁当にもう1品加えていただける「ほっかスナック」を発売いたしました。7月には発売以来大好評をいただいておりますピフテキシリーズをお値段そのままにお肉を10%増量し、リニューアルいたしました。新発売の「おろしうどんシリーズ」も第二弾として「えび天おろしうどん」を登場させました。ほっかほっか亭ならではの揚げたて天ぷらを冷たいうどんとお召し上がりいただく商品はお客様に喜ばれ、想定以上の販売食数に繋がりました。8月には熟成肉を使用した厚切り豚肉をさっぱりとしょうが焼で食べられる「熟成ポークのしょうが焼弁当」を発売いたしました。厚切りのお肉を頬張る喜びと、お肉の旨味が感じられるメニューは大変ご好評をいただきました。9月には毎年定番の松茸ごはんシリーズを発売し季節感のあるメニューをお手軽にご注文いただけるよう、新しい仕様に見直しました。

また、お弁当の法人需要も着実に獲得しており、大型音楽イベント等のスタッフ様向けの大量受注や、プロスポーツクラブとのコラボキャンペーンも展開いたしました。

さらに、既存のお客様はもとより新規のお客様へのアプローチとして「ほっかポイントアプリ」を使用した企画を展開し、日替りデラックス1周年によるリニューアルに合わせてアプリから人気投票いただく「DX-1グランプリ」を開催するなど、さらなる認知度の向上に努めました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高は91億0百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は5億87百万円（同2.0%増）となりました。

#### ②店舗委託事業

店舗委託事業においては、テナントオーナーのニーズを的確に捉え、企業価値を向上するために、自社運営サイトである「店通(てんつう)」を通して店舗業界に対する当社ブランドの浸透と当社サービスへの信頼感の向上に取り組んでまいりました。

また、三大都市圏を中心に優良物件を積極的に仕入れる一方、不採算店舗の解約等による物件稼働率の向上を図り、利益の向上に努めてまいりました。

さらに、既存ビルから飲食ビルへのコンバージョンや新築物件のマスターリース等により、資産価値の向上についても推進してまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は、委託店舗数の増大に伴い121億55百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は3億57百万円（同47.1%増）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業においては、ビルオーナーのニーズを的確に捉え、資産価値を向上するための各種サービスを積極的に展開してまいりました。また、提供するビル管理契約及び関連サービスを通して当社サービスの浸透を図り、収益機会を増やすことに注力してまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は、3億3百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は1億66百万円（同7.4%減）となりました。

④フレッシュベーカーリー事業

フレッシュベーカーリー事業においては、食パン「実」、カレーパンのブラッシュアップ、他既存商品の品質アップへの取り組み、夏場対策としてカレーフェアの実施やチーズタルトの販売を行い、お客様の多彩なニーズに応える取り組みに努めてまいりました。

この結果、フレッシュベーカーリー事業の売上高は6億41百万円（前年同四半期比9.4%減）、営業損失は40百万円（前年同四半期は営業損失1億16百万円）となりました。

⑤その他の事業

物流関連事業においては、ますます増進する物流サービスの多様化・複雑化への要望に、全国を網羅する物流基盤を活用して確実に応え、また、前連結会計年度に取得した、国際規格FSSC22000の基準による食品安全レベルの維持とさらなる向上の為、視覚化・共有化・数値化に取り組み、グループ内外の取引先との揺るぎない信頼関係の確立に注力してまいりました。

この結果、その他の事業の売上高は8億59百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は24百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は363億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少しました。これは主に現金及び預金が減少し、借地権が増加したことによるものです。

負債合計は162億89百万円となり前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少しました。これは主に借入金が増減したことによるものです。

純資産は200億86百万円となり前連結会計年度末に比べ1億69百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5億9百万円減少して71億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8億2百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億19百万円、減価償却費4億10百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9億24百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億17百万円、無形固定資産の取得による支出3億96百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億88百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入3億32百万円、長期借入金の返済による支出8億19百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月9日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,663	7,153
受取手形及び売掛金	1,614	1,513
商品及び製品	610	708
原材料及び貯蔵品	81	92
その他	859	932
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	10,811	10,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,278	5,314
機械装置及び運搬具（純額）	292	361
工具、器具及び備品（純額）	219	252
土地	10,918	10,918
リース資産（純額）	11	6
建設仮勘定	32	70
有形固定資産合計	16,751	16,924
無形固定資産		
借地権	70	461
のれん	12	7
その他	67	86
無形固定資産合計	150	555
投資その他の資産		
投資有価証券	2,266	2,238
長期貸付金	14	13
敷金及び保証金	5,617	5,615
繰延税金資産	384	284
長期未収入金	593	594
その他	427	417
貸倒引当金	△638	△652
投資その他の資産合計	8,665	8,511
固定資産合計	25,567	25,991
資産合計	36,379	36,375

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,275	2,109
短期借入金	769	1,039
1年内返済予定の長期借入金	2,166	867
未払金	826	865
未払法人税等	212	187
未払消費税等	83	69
賞与引当金	139	170
その他	1,724	1,804
流動負債合計	8,197	7,113
固定負債		
長期借入金	3,539	4,351
退職給付に係る負債	33	30
長期預り保証金	4,129	4,165
資産除去債務	349	356
その他	212	270
固定負債合計	8,264	9,175
負債合計	16,462	16,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,980	3,980
利益剰余金	14,121	14,313
自己株式	△2,299	△2,299
株主資本合計	19,839	20,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	46
その他の包括利益累計額合計	67	46
新株予約権	9	9
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,917	20,086
負債純資産合計	36,379	36,375

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
売上高	23,029	23,061
売上原価	18,014	17,920
売上総利益	5,014	5,140
販売費及び一般管理費	4,764	4,719
営業利益	249	421
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	19
受取賃貸料	92	85
業務委託契約解約益	78	82
持分法による投資利益	19	—
その他	95	88
営業外収益合計	291	275
営業外費用		
支払利息	16	12
賃貸費用	17	17
業務委託契約解約損	5	4
持分法による投資損失	—	6
その他	17	14
営業外費用合計	56	55
経常利益	485	641
特別利益		
固定資産売却益	27	0
投資有価証券売却益	156	—
受取補償金	9	34
事業分離における移転利益	50	—
その他	4	3
特別利益合計	247	37
特別損失		
固定資産除却損	29	22
減損損失	144	35
その他	3	2
特別損失合計	177	59
税金等調整前四半期純利益	555	619
法人税、住民税及び事業税	177	160
法人税等調整額	△19	99
法人税等合計	157	259
四半期純利益	397	360
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	397	360



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）
四半期純利益	397	360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	2
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△23
その他の包括利益合計	△99	△21
四半期包括利益	298	339
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	298	339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	555	619
減価償却費	452	410
のれん償却額	7	5
固定資産売却損益（△は益）	△27	△0
固定資産除却損	29	22
減損損失	144	35
事業分離における移転利益	△50	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△156	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6	13
賞与引当金の増減額（△は減少）	13	30
受取利息及び受取配当金	△5	△20
支払利息	16	12
持分法による投資損益（△は益）	△19	6
売上債権の増減額（△は増加）	86	100
たな卸資産の増減額（△は増加）	△81	△109
仕入債務の増減額（△は減少）	62	△165
未払消費税等の増減額（△は減少）	△40	△13
その他	110	45
小計	1,102	991
法人税等の支払額	△150	△197
法人税等の還付額	2	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	954	802
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	5	20
有形固定資産の取得による支出	△583	△617
有形固定資産の売却による収入	998	95
無形固定資産の取得による支出	△1	△396
投資有価証券の取得による支出	△457	—
投資有価証券の売却による収入	192	—
差入保証金の純増減額（△は増加）	45	16
事業譲渡による収入	383	—
その他	△48	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	535	△924
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息の支払額	△16	△12
短期借入金の純増減額（△は減少）	△33	269
長期借入れによる収入	746	332
長期借入金の返済による支出	△1,231	△819
配当金の支払額	△112	△169
その他	△28	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677	△388
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	813	△509
現金及び現金同等物の期首残高	6,659	7,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,472	7,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

コインランドリーサービスの収益及び費用については、従来、「営業外収益」、「販売費及び一般管理費」及び「営業外費用」として表示しておりましたが、コインランドリーサービスの展開を開始したことを契機に、その実態をより適切に表示するため、第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に含めて表示する方法に変更いたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた39百万円は、「売上高」39百万円、「販売費及び一般管理費」に表示していた10百万円、及び「営業外費用」の「その他」に表示していた1百万円は、「売上原価」12百万円として組み替えております。